

各位

2024年12月13日

会社名 株式会社ジェネレーションパス
代表者名 代表取締役社長 岡本洋明
(コード番号: 3195 東証グロース)
問合せ先 取締役 鈴木智也
(TEL. 03-5909-2937)

2024年10月期通期連結業績と前年実績との差異、連結決算における営業外費用、特別損失の計上及び個別決算における営業外収益、特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日公表の2024年10月期連結業績につきまして、2023年10月期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、連結決算において営業外費用、特別損失、個別決算において営業外収益、特別損失の計上を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績と前年実績との差異について

2024年10月期（2023年11月1日～2024年10月31日）の通期連結業績と前年実績との差異

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績 (A)	15,151	△4	71	△23	△2.87円
当期実績 (B)	16,235	81	22	△138	△17.10円
差異額 (B-A)	1,083	86	△49	△115	—
差異率 (%)	7.20%	—	△69.00%	—	—

差異の理由

売上高につきましては、前年実績を上回る水準での着地となりました。また、営業利益につきましては、ECマーケティング事業においては、新規事業であるUnique Stores Platform 事業への投資が先行しているものの、D2C商品の販売拡大及び物流施策としての上昇する配送コストの抑制や提携先倉庫の選択と集中を推進する等、各種利益改善に向けての取組みを継続し前年同期比で増益を達成しております。商品企画関連事業においては、青島新綻紡貿易有限会社の堅調な業績が寄与したことから、こちらも増益を達成し、全体としても86百万円の大幅増益となりました。しかしながら、経常利益につきましては、急激な為替相場の変動により、主としてベトナム子会社に対する貸付金にかかる為替差損78百万円が計上され、前年実績比で減益となっております。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当社及びGenepa Vietnam Co., Ltd. 社の固定資産の減損損失及び固定資産除却損が計上されることから、前年実績比で減益となりました。

2025年10月期においては、財務的な為替リスクに対しては、対応施策を確実に実行し為替の変動リスクを軽減することで安定した利益を計上していく方針であります。併せて2024年10月期において本社及び海外子会社の減損損失を大幅に実行したことで来期以降の経営体制の強化を見込んでおります。

2. 連結決算における営業外費用の計上について

急激な為替相場の変動により、為替差損78百万円を営業外費用に計上いたしました。これは主に当社ベトナム子会社であるGenepa Vietnam Co., Ltd. 社が有する外貨建債務に係る為替差損によるものであります。

3. 連結決算における特別損失の計上について

当社及びGenepa Vietnam Co., Ltd. 社が保有する固定資産に減損の兆候が認められたことから、将来の回収可能性や2025年10月期以降の財務及び経営体制への影響を勘案した結果、特別損失として固定資産の減損損失95百万円を計上いたしました。

4. 個別決算における営業外収益の計上について

当社は、連結子会社である青島新綻紡貿易有限公司から、配当金として92百万円を受領したことにより、営業外収益として受取配当金92百万円を計上いたしました。

なお、当該受取配当金は連結決算において消去されるため、連結損益に影響はありません。

5. 個別決算における特別損失の計上について

当社が保有する固定資産に減損の兆候が認められたことから、将来の回収可能性や2025年10月期以降の財務及び経営体制への影響を勘案した結果、特別損失として固定資産の減損損失85百万円を計上いたしました。また、Genepa Vietnam Co., Ltd. 社において主として為替差損の影響で債務超過となったため、同社に対する債権について貸倒引当金繰入額118,664千円を特別損失に計上いたしました。

なお、当該貸倒引当金繰入額は連結決算において消去されるため、連結損益に影響はありません。

6. 業績に与える影響について

上記の計上につきましては、本日公表の「2024年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上